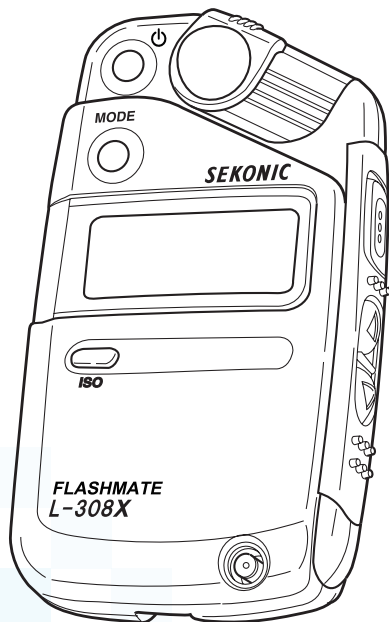


SEKONIC 露出計

FLASHMATE

L-308X

使用説明書








このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に本使用説明書をよくお読みいただき製品の性能を十分ご理解いただいた後に取扱いおよび保管をしていただくようお願い致します。

基本的な操作については、スタートアップガイドをご覧ください。

正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 警告	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。
 注意	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。
 ご注意	操作をする上での注意や制限です。誤った操作をしないために、必ずお読みください。
 ご参考	操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。お読みになることをお勧めします。
	参照ページを示しています。

警告

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 乳幼児等が誤って、白色平板、シンクロターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、規格適合品ではない電池の使用は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

ポリ塩化ビニール (PVC) ケーブルおよびコードに関する注意事項

- 当製品とともに販売されたアクセサリに付属するコードを手で扱う場合、鉛（カリフォルニア州では、がん、および出生異常または他の生殖障害の原因として知られている化学物質）に触れる可能性があります。取り扱い後は必ず手を洗ってください。

注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。又、製品が故障する原因となる場合があります。
- 本体は絶対に改良や分解をしないでください。測定結果への影響、或いは故障の原因になる恐れがあります。
- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップを意図しないものなどに引っかけたり絡まないように注意してください。落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本製品および本書内容については、予告なしに変更することがあります。
- 説明書の画面は、実物と異なることがあります。(色・文字等)
- 落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。故障の原因になります。
- 高温または多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化による湿気に注意してください。結露する場合があります故障や誤動作の原因になります。
- 本機の温度が -10°C 以下になると、液晶表示の応答が非常に遅くなり、表示が読みにくくなります。温度が $0\sim 10^{\circ}\text{C}$ では液晶表示の応答が若干遅くなりますが、ご使用には差し支えありません。また、温度が 50°C を超えると液晶表示が黒くなり、表示が読みにくくなりますが常温に戻るともとの状態になります。
- 真夏の直射日光下や暖房設備等の近くに放置すると、気温に比べて本機の温度がかなり上昇することがありますので、このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 電池の液漏れ等で本機に影響を与えることがありますので、長期間ご使用にならないときは電池をとりだして保管してください。
- 「コード接続モード」では、高度 2000 m 以下でご使用ください。
- 腐食性のガスが発生する恐れのある場所に放置すると、ガスの影響で本機の故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のゴミ廃棄方法に従って処理してください。

お手入れについて

- 精度に影響を与える恐れがありますので、光球、レンズ、白色平板(別売アクセサリ)にはホコリ、ゴミ、キズが付かないようにしてください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)は、絶対に使用しないでください。

ご参考

- 使用済みの電池は各自自治体のルールに従って処分してください。
- 使用済みの電池を廃棄する際はプラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

■ 使用の目的

以下の様な場面でご使用できます。

- 写真、ビデオ、および映画撮影における、照明や自然光の測定。

■ L-308X の特長

入射光式、反射光式を切替えることができます。

定常光、フラッシュ光に対応しています。

動画用の露出測定に対応しています。

■ 使用対象者

本製品をご使用になる対象者について、以下の様な方々のご使用を想定しております。

- 写真、ビデオ、映画のカメラマン、照明技師、撮影監督など、撮影関連に従事される方。

■ 制限事項

ご使用にあたり、いくつかの注意・制限事項があります。

お手数ですが、以下の内容にご同意いただいた上で、ご使用いただきますようお願いいたします。

ご参考

- 使用説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更する場合があります。弊社ホームページから最新の使用説明書をダウンロードしてご利用されることをお勧めします。
URL : <https://www.sekonic.co.jp/product/meter/download/download.html>
- 「使用上のご注意」や「安全上のご注意」など安全に関する注意事項は、使用説明書作成時点での法的基準や業界基準に拠った内容になっております。従いまして、記載内容が最新の内容ではない場合もありますので、過去の使用説明書のご利用にあたっては、最新の使用説明書に記載されている、安全に関する注意事項をご参照ください。
- 本体の製品に同梱されている「安全上のご注意」をよくお読みの上でご使用ください。
- 製品には、使用説明書を補足するために、安全に関する注意事項・正誤表などの印刷物が同梱されている場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 使用説明書の内容は、非営利の目的でかつ個人的用途に利用する場合に限り、複製できます。但し、かかる複製物には当社の著作権表示が付されていることを条件とします。
- 使用説明書の液晶表部やイラストは、実際のものとは異なることがあります。(色・文字等)

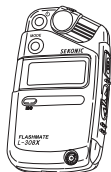
■ 同梱品の確認

本体のほかに以下の付属品が同梱されています。開梱後、付属品に不足がないことをご確認ください。

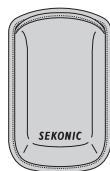
足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※単3形電池（1本）、は同梱しておりません。別途、お買い求めください。

本体



ソフトケース



シンクローターミナルキャップ
(本体に装着済み)



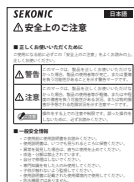
ストラップ



スタートアップガイド
保証書付き



安全上のご注意



■ 正しく安全にお使いいただくために	i
⚠ 警告	i
⚠ 注意	ii
ご注意	iii
ご参考	iii
■ 使用の目的	iv
■ L-308X の特長	iv
■ 使用対象者	iv
■ 制限事項	iv
■ 同梱品の確認	v
1. 本体各部の名称	1
1-1 名称	1
2. 液晶表示部	2
2-1 表示内容	2
3. ご使用の前に	4
3-1 ストラップの付け方	4
3-2 電池の入れ方	5
3-3 電源の ON / OFF	6
3-4 オートパワーオフ機能	6
3-5 電池容量の確認	7
3-6 電池の交換	7
4. 基本操作	8
4-1 基本的な測定の流れ	8
4-2 受光方式の切換え	9
4-2-1 入射光式	9
1) 光球を使用しての測定	9
2) 白色平板を使用しての測定 (別売アクセサリ)	10
4-2-2 反射光式	11
4-3 表示モードの選択	11
4-4 測定モードの選択	12
4-5 ISO の感度設定	13

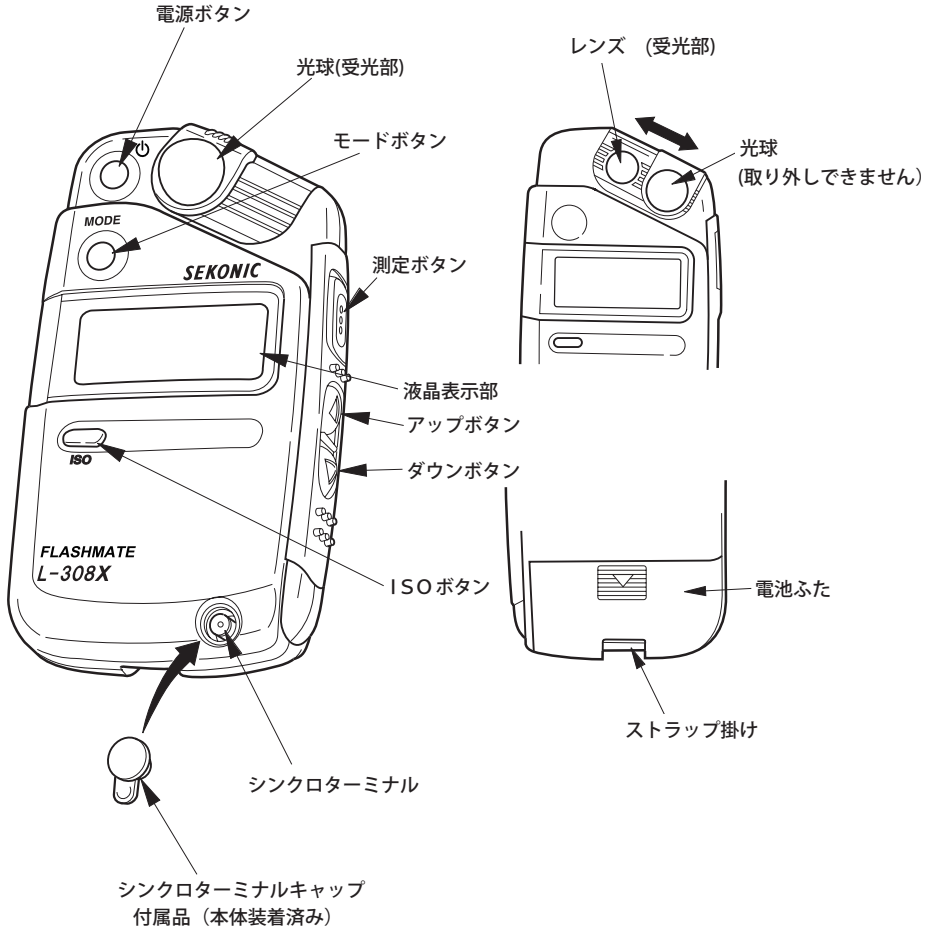
5. 測定	14
5-1 フォトモード	14
<定常光モードでの設定>	14
5-1-1 シャッター速度優先モードの測定	14
5-1-2 絞り優先モードの測定	15
5-1-3 EVモードの測定	16
<フラッシュ光モードでの設定>	18
5-1-4 フラッシュ光コードレスモードの測定	18
5-1-5 フラッシュ光コード接続モードの測定	20
5-2 HDシネカメラモード	22
5-2-1 シャッター速度優先モードの測定	22
5-2-2 フレームレートの設定	23
5-2-3 簡易照度の測定	24
5-3 シネカメラモード	25
5-3-1 フレームレート優先モードの測定	25
5-3-2 シャッター開角度の設定	26
5-3-3 簡易照度の測定	27
5-4 照明比の測定	28
5-5 表示範囲 / 測定範囲を超えたときには	29
5-5-1 表示範囲を超えたとき	29
1) 「E.o」が点灯した場合	29
2) 「E.u」が点灯した場合	29
5-5-2 測定範囲を超えたとき	30
1) 「E.o」が点滅した場合	30
2) 「E.u」が点滅した場合	30
6. 機能	31
6-1 カスタム設定機能	31
<表示モードの切換え>	32
<絞り値とシャッター速度のステップ設定>	32
<簡易照度表示設定>	32
6-2 指示値補正機能	33
7. 各種設定値	34
7-1 ISO感度	34

7-2	シャッター速度	34
7-3	絞り値	35
7-4	フレームレート	35
7-5	シャッター開角度	35
8.	別売アクセサリ	36
9.	仕様	37
10.	法的要求事項	39
11.	トラブルシューティング	40
12.	アフターサービスについて	41

1. 本体各部の名称

1-1

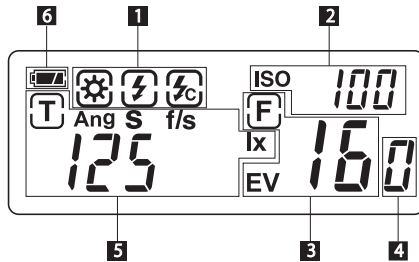
名称



2. 液晶表示部

2-1 表示内容

※ 本表示は説明のため、すべてを表示しています。



1 測定モード表示部（フォトモードのみ表示）



定常光モード（→ P14）



フラッシュ光コードレスモード（→ P18）



フラッシュ光コード接続モード（→ P20）

2 ISO 表示部（→ P13）

ISO ISO 感度を表示します。

3 絞り値 / EV 値測定値表示部



絞り優先測定のと看、点灯します。（→ P15）



EV モードのと看、点灯します。（→ P16）

4 0.1 段表示部

設定されたモードにより、1 / 10 絞り、または、1 / 10 EV で測定値を表示します。

5 シャッター速度 / フレームレート表示部 / シャッター開角度 / 照度表示部



シャッター速度優先測定のと看、点灯します。（→ P14、→ P22）



シャッター速度が秒単位のと看、点灯します。（→ P14、→ P22）



シャッター速度がフレームレートのと看、点灯します。

（→ P23、→ P25）



シャッター開角度が 180° 以外のと看、点灯します。（シネカメラモードのみ表示）（→ P26）



簡易照度測定（ルクス）のと看、点灯します。（カスタム設定にて選択）

（→ P24、→ P27）

6 電池容量表示部（→ P7）

液晶バックライト

測定を行っている場所が暗いとき（EV5 以下）、測定後明るさを感知して自動的に液晶表示部が点灯します。

測定中、及びフラッシュ光コードレス待機時は、測定値に影響を及ぼすため、点灯しません。

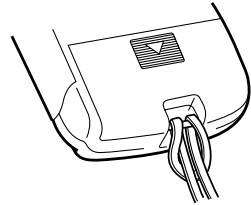
液晶の照明は各ボタンの操作後、約 10 秒で自動的に消灯されます。

液晶バックライトを点灯させたい場合は、受光部（光球部）を手で覆い ISO ボタンを押すと、測定値が変わることなく液晶バックライトを点灯させることができます。

3. ご使用の前に

3-1 ストラップの付け方

1. 付属のストラップをストラップ掛けに通します。
2. ストラップ先端の輪の中に、ストラップの反対側を通します。



警告

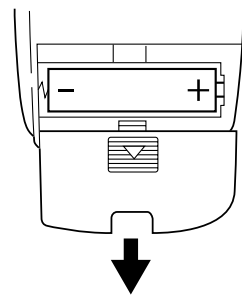
- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

注意

- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップが絡まないように注意してください。落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。
合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。

3-2 電池の入れ方

1. 単三形電池を 1 本用意します。
2. 電池ふたを矢印の方向にスライドさせ外します。
3. 電池ホルダーの「-」「+」表示に合わせて、「-」側から電池を入れます。
4. 電池ふたを本体に合わせスライドして閉めます。
確実にかみ合ったことを確認してください。



警告

- 電池を火の中に入れて、ショート、分解、加熱は絶対にしないでください。電池が破裂し、火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

注意

- マンガンまたはアルカリ電池をお使いください。
- 電池を取り外すときはプラス「+」側から取り外してください。マイナス「-」端子のスプリングが変形、破損する可能性があります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。電池の液漏れが発生し、本機に悪影響を与えることがあります。

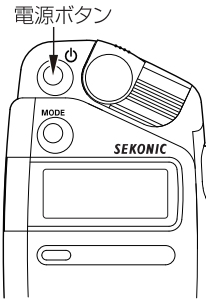
3-3 電源の ON / OFF

電源 ON

電源ボタンを押します。

電源 OFF

電源ボタンを 1 秒以上押します。



⚠️ ご注意

- 電源ボタンの ON / OFF の間隔は 3 秒以上あけてください。

📖 ご参考

- 液晶表示部に何も表示されない場合は、電池がセットされているか、容量が十分あるか、または電池極性が「+」「-」逆に挿入されていないかを確認してください。
- 電源を OFF しても、操作中の測定値・設定値は記憶されており、電源を ON すると再表示されます。

3-4 オートパワーオフ機能




省電力設計のため使用後（最後のボタン操作後）約 4 分（初期設定値）で自動的にすべての表示が消え電源は OFF となります。

📖 ご参考

- オートパワーオフ機能が働いたときや、電源ボタンを OFF したときは、測定値・設定値は記憶されています。電源ボタンを ON することで再表示されます。
- 電源 OFF の状態から電源ボタンが連続して押され続けたときは、電源は一旦 ON しますが約 1 分後に自動的に OFF になります。（輸送中に電源ボタンが押されたままになっていた場合でも電池の消耗を避けることができます）。

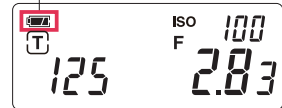
3-5 電池容量の確認

電源を ON すると、液晶表示部に電池容量を示すマークが表示されます。

- | | | |
|---|----|-----------------|
|  | 点灯 | 電池容量は十分です。 |
|  | 点灯 | 予備の電池を用意してください。 |
|  | 点滅 | 直ちに電池を交換してください。 |

[液晶表示部]

電池容量マーク



ご参考

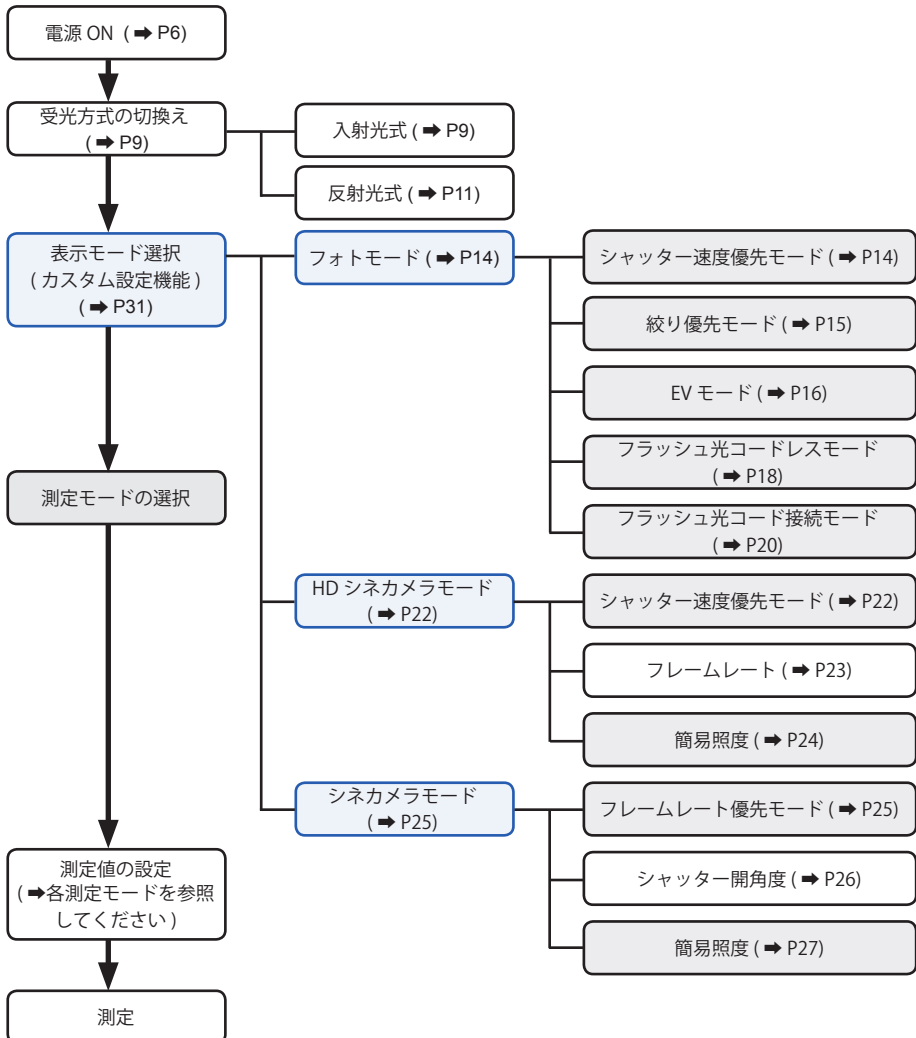
- 電池容量が不足した状態では、電源を ON した後、液晶表示部が現れずぐに表示が消える場合がありますが、故障ではありません。新しい電池に交換してください。あらかじめ予備の電池を用意しておくことをお勧めします。
- 連続測光した場合、本機の電池寿命は常温で下記の通りです。（当社試験条件による）
マンガン電池 約 10 時間
アルカリ電池 約 20 時間

3-6 電池の交換

- 必ず電源を OFF にしてから電池交換を行ってください。
電源を ON にしたまま電池交換を行うと、操作中の測定値の記憶がされません。また故障の原因になります。
- 電池交換後または測定中、液晶表示部に異常な表示（設定していない表示等）が現われた場合や、操作ボタンを押しても動作しないときは、電池を取り出し 10 秒以上経過してから入れ直してください。

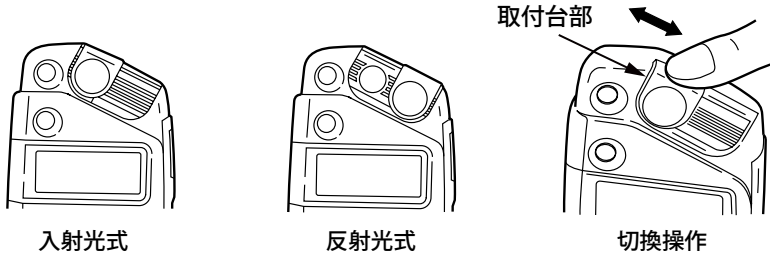
4. 基本操作

4-1 基本的な測定の流れ



4-2 受光方式の切換え

入射光式と反射光式の切換えは光球の取付台部分をクリック感のある停止位置まで確実にスライドさせます。

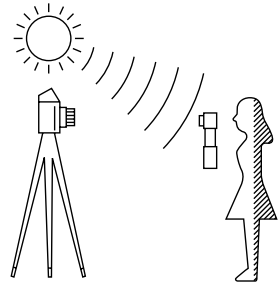


⚠️ ご注意

- 切換えを行う場合は必ず光球の取付台部分で行ってください。光球を持って操作すると、破損する場合があります。(光球および取付台部分は取り外せません。)
- 光球は大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。光球が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)は絶対に使用しないでください。

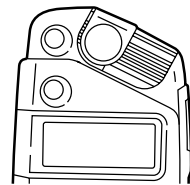
4-2-1 入射光式

入射光式の測定は、光球か平板機能を使用して測定する方法です。被写体位置で光球をカメラのレンズ(正しくはレンズの光軸方向)に向けて測定します。



1) 光球を使用しての測定

人物や建物など立体的な被写体を測定するときに使用します。光球が受光部(レンズ)にしっかりと被さる位置にあることを確認してください。



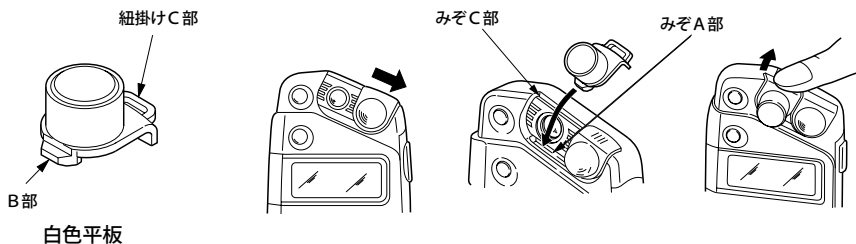
入射光式

2) 白色平板を使用しての測定（別売アクセサリー）

白色平板を使用して測定します。

原稿、書籍、絵画など平面的な被写体を測定するとき、または照明比の測定（⇒P28）、簡易的に照度を測定（⇒P24、⇒P27）するときを使用します。

平板機能への切換えは、光球を反射光測定の場合と同様に右にスライドさせます。白色平板のB部を、受光部のみぞA部に斜めに差込み、次に紐掛けC部を押してみぞC部にはめ込みます。



白色平板を取り外すには、取り付け方法と逆の順序で外します。

白色平板の紐掛けC部を起こすようにして外してください。

警告

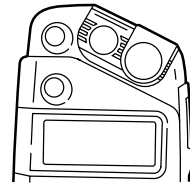
- 乳幼児等が誤って、白色平板（別売アクセサリー）を飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

ご注意

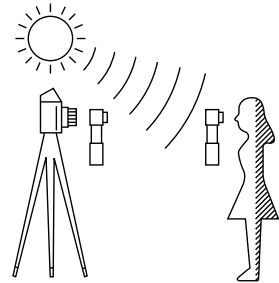
- 間違った取り付け方、取り外し方をすると破損の原因になります。正しくお取り扱いください。
- 入射光式測定するとき、白色平板を光球の右側に取り付けて測定しないでください。白色平板が光をさえぎり正しい値が得られません。
- 光球および白色平板は大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。受光部が汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

4-2-2 反射光式

受光方式を反射光式に切換えて測定します。反射光式は、被写体に当たって反射した光の明るさ（輝度）を測る方法です。この方法は、被写体位置まで近づけない場合（風景等）や発光する被写体（ネオン等）、透過光（スタンドグラス等）を測定する場合に適しています。カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に露出計のレンズを正しく向けて測定します。



反射光式



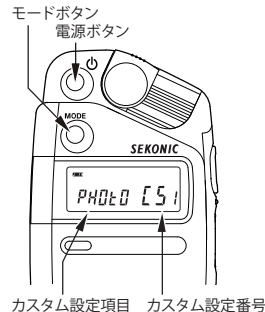
ご注意

- 反射光式の場合、 40° の受光角で測定するため、カメラ位置で測定すると被写体全体の平均測定になります。
- 部分測定するときは、できるだけ被写体主要部に近づいて測定してください。その場合露出計等の影が測定部に入らないように注意してください。
- レンズは大切な受光部です。傷や汚れを付けないように扱ってください。レンズが汚れたとき、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。

4-3 表示モードの選択

使用するカメラ機材に適した表示モードをカスタム設定にて選択します。（→ P31）

PHOTO	[PHOTO] フォトモード (初期設定)
Hd_C	[Hd_C] HD シネカメラモード
CINE	[CINE] シネカメラモード



4-4 測定モードの選択

各表示モードによって、設定できる測定モード（測定値表示や設定内容）が異なります。

モードボタンを押してご使用される測定モードを選択します。（➡ P8）

フォトモード：

- ・シャッター速度優先モード（定常光）
- ・絞り優先モード（定常光）
- ・EVモード（定常光）
- ・フラッシュ光コードレスモード
（シャッター速度優先モード）
- ・フラッシュ光コード接続モード
（シャッター速度優先モード）

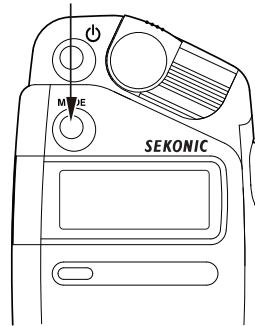
HD シネカメラモード：（定常光のみ）

- ・シャッター速度優先モード
- ・フレームレート設定モード
- ・簡易照度測定モード（カスタム設定にて選択）

シネカメラモード：（定常光のみ）

- ・フレームレート優先モード
- ・シャッター開角度設定モード
- ・簡易照度測定モード（カスタム設定にて選択）

モードボタン



ご参考

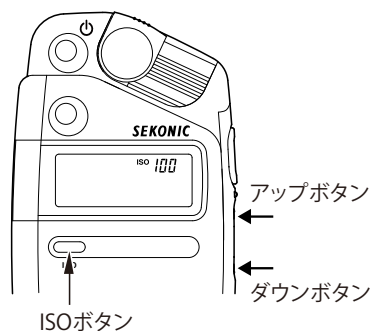
- ・ISO ボタンを押しながらモードボタンを押すと一つ前の測定モードへ変更ができます。
- ・定常光とは、自然光（太陽光）やタングステンランプ、蛍光灯のような連続光のことです。
- ・フラッシュ光とは、フラッシュまたはフラッシュバルブ（閃光電球）のような瞬間光のことです。

4-5 ISO の感度設定

ISO ボタンを押しながらアップボタン、またはダウンボタンを押して使用する、ISO（感度）を設定します。

ISO（感度）の変更は、測定後でも行えます。

測定後に ISO（感度）を変えると新たに換算された測定値を表示します。



ご参考

- アップボタン、またはダウンボタンを 1 秒以上押し続けると連続して設定値が変わります。
- 設定可能な範囲は ISO3 ~ 8,000 です (ISO850 含む)。 (➡ P34)

5. 測定

5-1 フォトモード

写真用カメラ（フィルム/デジタル）を使う場合に適したモードです。

このカメラモードでは、定常光モード、フラッシュ光コードレスモード、フラッシュ光コード接続モードがあります。

フォトモードの選択はカスタム設定をご参照下さい。（⇒ P31）

<定常光モードでの設定>


自然光（太陽光）やタングステンランプ・蛍光灯のような連続光は、定常光モードで測定を行います。

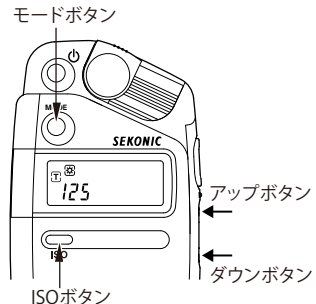
この測定方法には、シャッター速度優先、絞り優先モード、E V値の測定モードがあります。

モードボタンを押して、 定常光モードに切換えます。

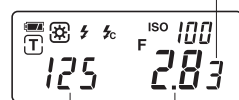
5-1-1 シャッター速度優先モードの測定

操作

1. モードボタンを押して、 シャッター速度優先モードにします。
2. ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、ご希望のISO（感度）に設定します。（⇒ P13）
3. アップボタン、ダウンボタンを押して、ご希望のシャッター速度に設定します。
4. 測定ボタンを押して測定します。
測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。
測定ボタンを押している間は、連続測定します。



1/10ステップの測定（絞り）



設定値 測定値（絞り値）

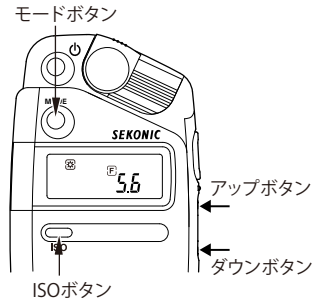

 ご参考

- シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により1段、1/2段、1/3段毎のステップに切換えることができます。(⇒ P31)
- 設定できるシャッター速度は、60秒、50秒、45秒……1秒、0.8秒、……0.3秒、1/4……1/6400、1/8000秒です。
- 測定後、シャッター速度またはISO(感度)を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- 測定値が表示範囲および測定範囲を超える場合があります。設定値を変更するか、明るさを調整してください。(⇒ P29)

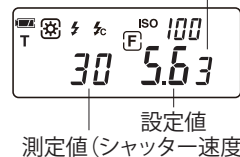
5-1-2 絞り優先モードの測定

操作

1. モードボタンを押して、**[F]** 絞り優先モードにします。
2. ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、ご希望のISO(感度)に設定します。(⇒ P13)
3. アップボタン、ダウンボタンを押して、ご希望の絞り値に設定します。
4. 測定ボタンを押して測定します。
測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値(シャッター速度)が表示されます。
測定ボタンを押している間は、連続測定します。



1/10ステップの測定値
(シャッター速度)



 ご参考

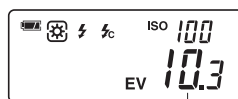
- 絞り値の表示ステップはカスタムセッティング機能により1段、1/2段または、1/3段のステップに切換えることができます。(⇒ P31)
- 設定できる絞り値はF0.5、0.56、0.63、……4.0、4.5、4.8、5.0、5.6、6.3、6.7、7.1、8.0、9.0、9.5、10、11、13、14、16、18、19、20、22……64、72、76、81、90が設定できます。
- 測定値が表示範囲および測定範囲を超える場合があります。設定値を変更するか、明るさを調整してください。(⇒ P29)

5-1-3 EVモードの測定

操作

1. モードボタンを押して、**EV**モードにします。
2. 測定ボタンを押して測定します。
測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値（EV値）を表示します。
測定ボタンを押している間は、連続測定します。

モードボタン



測定値(EV値)


 ご参考

- EV値（Exposure Value）とはシャッター速度と絞り値で組み合わせられる一定の光量を対数的に表したものです。
1 EV変化すると光量は倍（または 1/2）になります。
- 絞り値（AV=Aperture Value）、シャッター速度値（TV=Time Value）とEV値との関係は $EV = AV + TV$ となります。
この関係式から、ある一定のEV値に対し、絞りとシャッター速度の組み合わせが複数あることがわかります。

☆ 絞り値・シャッター速度値・EV 値対照表

$$EV = AV + TV$$

(ISO100 のとき)

		AV	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		TV	1.0	1.4	2.0	2.8	4.0	5.6	8.0	11	16	22	32
0	1s	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1	1/2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
2	1/4	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
3	1/8	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
4	1/15	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
5	1/30	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
6	1/60	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
7	1/125	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
8	1/250	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
9	1/500	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
10	1/1000	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	

※ 横軸は絞り値。縦軸はシャッター速度値。グレー地の文字が EV 値。

<フラッシュ光モードでの設定>

フラッシュ光モード測定とは、フラッシュまたはフラッシュバルブ（閃光電球）のような瞬間光を使った測定のことです。


この測定方法には、コードレス、コード接続の各測定モードがあります。

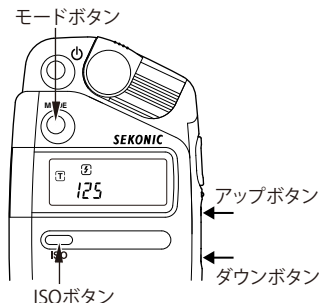
フラッシュ光を測定すると、液晶表示部にシャッター速度と絞り値（定常光とフラッシュ光をミックスした値=全光量）が表示されます。

5-1-4 フラッシュ光コードレスモードの測定

この測定モードは、本機を測定待機状態（90 秒間）にセットし、この間にフラッシュを発光させて測定、測定値（絞り値）を表示します。一般的にフラッシュと本機に距離が有リシンクロコードが届かない場合や、シンクロコードを使用せずにフラッシュ光を測定したい場合に使用します。


操作

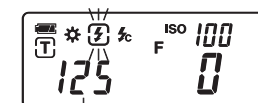
1. モードボタンを押して、 フラッシュ光コードレスモードに切り換えます。
2. ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、ご希望の ISO（感度）に設定します。（⇒ P13）
3. アップボタン、またはダウンボタンを押して、ご希望のシャッター速度に設定します。



⚠️ ご注意

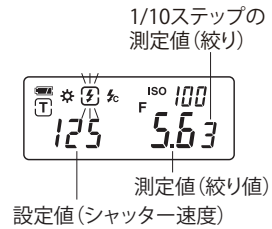
- シャッター速度は、使用する機器の同調範囲内で設定してください。

4. 測定ボタンを押すと、測定待機状態に入り、 フラッシュ光コードレスモードアイコンが90秒間点滅します。




設定値
(シャッター速度)

5. フラッシュ光コードレスモードアイコン 点滅中にフラッシュ光を手動で発光させます。 測定が行われ、測定値が表示されます。



ご参考

- フラッシュ光を発光する前に、 フラッシュ光コードレスモードアイコンの点滅が終了したときや、もう一度測定をやり直したいときは、手順 4) ~ 5) を繰り返してください。

ご注意

下記のような場合は、「フラッシュ光コード接続モード」にして測定してください。
(⇒ P20)

- フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合 (9EV 以上の差) は、光を感知しないときがあります。
- ラビッドスタート形蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの光をフラッシュ光として判別し、測定してしまうことがあります。
- 測定待機中にフラッシュを発光させなくても、受光部に急激な光の変化が起きると測定してしまうことがあります。

ご参考

- シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により 1 段、1/2 段、1/3 段毎のステップに切換えることができます。(⇒ P31)
- 設定できるシャッター速度は、1 秒、0.8 秒…0.3 秒、1/4…1/500 秒の次に 1/75、1/80、1/90、1/100 秒が設定できます。
- 測定後、シャッター速度を変えると、測定値 (絞り値) はゼロとなります。この場合は再測定をお願いします。
- 測定後、ISO (感度) を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- 測定値が表示範囲および測定範囲を超える場合があります。測定値を変更するか、明るさを調整してください。(⇒ P29)


5-1-5 フラッシュ光コード接続モードの測定

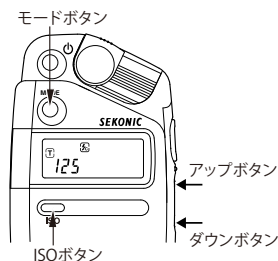
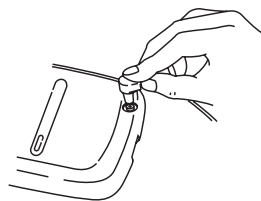
この測定モードでは、フラッシュと本機をシンクロコード（別売アクセサリ）で接続して測定を行います。

フラッシュとの同調を確実にしたいときやフラッシュバルブ（閃光電球）を使用して測定する場合に使用します。

測定ボタンを押すとフラッシュが発光し、測定値（絞り値）を表示します。

操作

1. フラッシュのシンクロコードを本機のシンクロターミナルに接続します。
（シンクロターミナルキャップは外します）
2. モードボタンを押して、 フラッシュ光コード接続モードに切替えます。
3. ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、ご希望の ISO（感度）に設定します。（⇒ P13）
4. アップボタン、またはダウンボタンを押して、ご希望のシャッター速度に設定します。

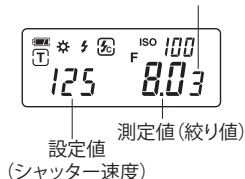


ご注意

- シャッター速度は、使用する機器の同調範囲内で設定してください。

5. 測定ボタンを押すと、フラッシュが発光し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。

1/10ステップの測定値（絞り値）



 **ご注意**

- シンクローターミナルにシンクロコードを接続するときや本機の電源ボタンを操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。
- 極端にトリガー電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「フラッシュ光コードレスモード」で測定してください。(➡ P18)

 **ご参考**

- シャッター速度の設定は「フラッシュ光コードレスモード」の測定と同様です。(➡ P18)
- 測定後、ISO (感度) を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- 測定値が表示範囲および測定範囲を超える場合があります。設定値を変更するか、明るさを調整してください。(➡ P29)

 **警告**

- 乳幼児等が誤って、シンクローターミナルキャップを飲み込まないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

 **注意**

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。また、製品が故障する原因となる場合があります。

5-2 HD シネカメラモード

デジタルカメラのムービー機能やデジタルビデオカメラなど、フレームレートとシャッター速度の設定ができるカメラを使う場合に適したモードです。

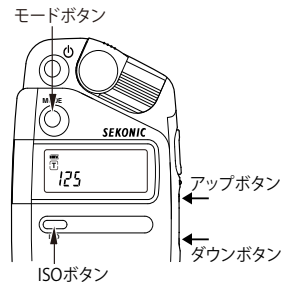
測定すると標準露出(絞り値)が表示されます。また、このカメラモードには、簡易照度測定モード(カスタム設定にて選択)があります。

HD シネカメラモードの選択はカスタム設定をご参照下さい。(→ P31)

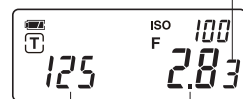
5-2-1 シャッター速度優先モードの測定

操作

1. モードボタンを押して、**T** シャッター速度優先モードにします。
2. ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、ご希望の ISO (感度) に設定します。(→ P13)
3. アップボタン、またはダウンボタンを押して、ご希望のシャッター速度に設定します。
4. 必要があれば、フレームレート設定モードにてフレームレート(初期設定は 24 fps)を設定します。(→ P23)
5. 測定ボタンを押して測定します。
測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値(絞り値)が表示されます。測定ボタンを押している間は、連続測定します。



1/10ステップの
測定値(絞り値)



設定値

測定値(絞り値)

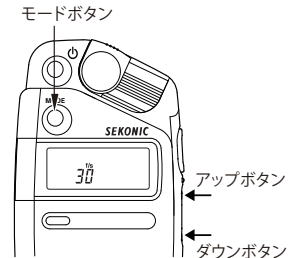

 ご参考

- シャッター速度の段数はカスタムセッティング機能により1段、1/2段、1/3段毎のステップに切換えることができます。(⇒ P31)
- 設定できるシャッター速度は、1/8秒……1/6400、1/8000秒です。1/8000秒の次に1/24、1/25、1/30、1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120秒が別に設定できます。
- フレームレートによりシャッター速度の下限が変わります。(たとえば、30 f/s が設定されているときは、シャッター速度は1/30秒から設定可能です。)
- 測定後、シャッター速度またはISO（感度）を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- 本機の測定範囲を超える明るさ（または暗さ）のときはE₀（またはE_u）が点滅し、測定できないことを表します。(⇒ P29)

5-2-2 フレームレートの設定

操作

1. モードボタンを押して、**f/s** フレームレート設定モードにします。
2. アップボタン、またはダウンボタンを押して、ご希望のフレームレートに設定します。
3. 測定ボタンを押すと、**T** シャッター速度優先モードに戻り、測定します。



 ご参考

- 設定できるフレームレートは、8、12、16、18、24、25、30、32、48、50、60、64、96、100、120、128f/sです。
- フレームレートによりシャッター速度の下限が変わります。(たとえば、30 f/s が設定されているときは、シャッター速度は1/30秒から設定可能です。)

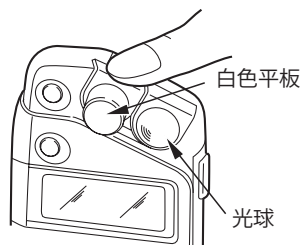
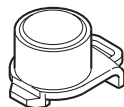
5-2-3 簡易照度の測定

簡易照度の表示方法は、カスタム設定をご参照下さい。(⇒ P31)

操作

1. 白色平板 (別売アクセサリ) を取り付けます。
(⇒ P10)
2. モードボタンを押して、簡易照度測定モードにします。
3. 測定したい面 (光源) と受光部が平行になるようにして測定ボタンを押すと、そのときの照度が表示されます。測定ボタンを押している間は、連続測定します。

白色平板



測定値 (ルクス)

5-3 シネカメラモード

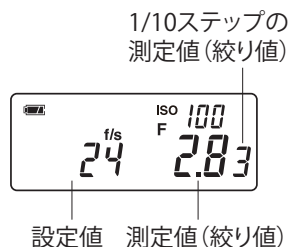
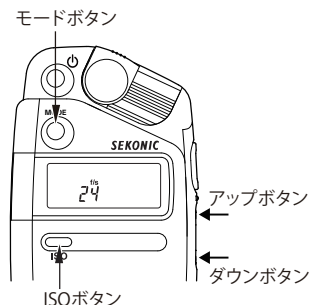
映画撮影カメラなどフレームレートとシャッター開角度が設定できるカメラを使う場合に適したモードです。測定すると標準露出が表示されます。

また、このカメラモードには、簡易照度測定モード（カスタム設定にて選択）があります。シネカメラモードの選択はカスタム設定をご参照下さい。（⇒ P31）

5-3-1 フレームレート優先モードの測定

操作

1. モードボタンを押して、**f/s** フレームレート優先モードにします。
2. ISO ボタンを押しながらアップボタンまたは、ダウンボタンを押して、ご希望の ISO（感度）に設定します。（⇒ P13）
3. アップボタン、またはダウンボタンを押して、ご希望のフレームレートに設定します。
4. 必要があれば、シャッター開角度設定モードにてシャッター開角度（初期設定は 180 度）を設定します。（⇒ P26）
5. 測定ボタンを押して測定します。
測定ボタンを離すと測定が完了し、そのときの測定値（絞り値）が表示されます。
測定ボタンを押している間は、連続測定します。



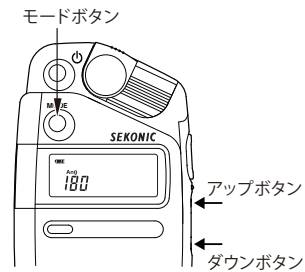
 **ご参考**

- 設定できるフレームレートは、8、12、16、18、24、25、30、32、48、50、60、64、96、100、120、128 f/s です。
- 測定後、フレームレートまたは ISO（感度）を変えると、それに対応する絞り値が換算・表示されます。
- 本機の測定範囲を超える明るさ（または暗さ）のときは、E_o（または E_u）が点滅し、測定できないことを表します。（→ P29）

5-3-2 シャッター開角度の設定

操作

1. モードボタンを押して、**Ang**シャッター開角度設定モードにします。
2. アップボタン、またはダウンボタンを押して、ご希望のシャッター開角度を設定します。
3. 測定ボタンを押すと、**f/s** フレームレート優先モードに戻り、測定します。



 **ご参考**

- 設定できるシャッター開角度は、45°、90°、180°、270°、360° です。

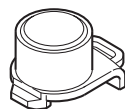
5-3-3 簡易照度の測定

簡易照度の表示方法は、カスタム設定をご参照下さい。(➡ P31)

操作

1. 白色平板（別売アクセサリ）を取り付けます。
(➡ P10)
2. モードボタンを押して、簡易照度測定モードにします。
3. 測定したい面（光源）と受光部が平行になるようにして測定ボタンを押すと、そのときの照度が表示されます。測定ボタンを押している間は、連続測定します。

白色平板



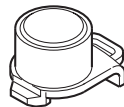
測定値 (ルクス)

5-4 照明比の測定

スタジオでのライティングの確認や照明ムラのチェックを行う方法です。

操作

1. 白色平板（別売アクセサリ）を取り付けます。（⇒ P10）
2. 主光源のみ点灯させます。被写体位置で白色平板を主光源に向けて測定します。
3. 次に補助光源のみ点灯します。この状態で白色平板を補助光源に向けて、測定します。
4. 主光源と補助光源の測定値の差より、照明比を求めます。



測定値のEV差	照明比
1	2:1
1.5	3:1
2	4:1
3	8:1
4	16:1
5	32:1

ご参考

- 入射光測定時の露出決定は、主光源と補助光源を点灯し光球を使用してカメラの光軸に向けて測定します。

5-5 表示範囲 / 測定範囲を超えたときには

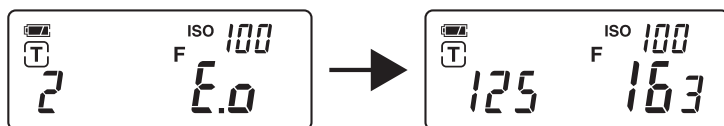
5-5-1 表示範囲を超えたとき

1) 「E.o」が点灯した場合

測定値が本機の測定範囲内であっても、表示範囲の上限を超えた場合は、「E.o」が点灯します。その場合は、以下の方法で測定値を表示させることができます。

操作

1. アップボタンを押して、シャッター速度を高速側に変更します。
2. ISO ボタンを押しながらダウンボタンを押して、ISO (感度) を下げます。
3. 光源の光量調整が可能であれば、光量を少なくして再測定します。

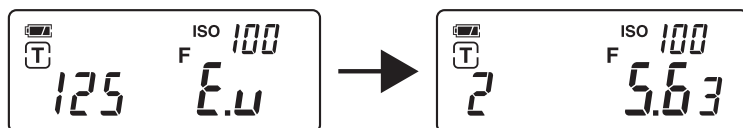


2) 「E.u」が点灯した場合

測定値が本機の測定範囲内であっても、表示範囲の下限を超えた場合は、「E.u」が点灯します。その場合は、以下の方法で測定値を表示させることができます。

操作

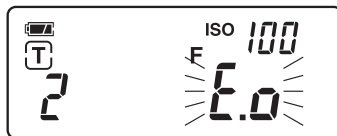
1. ダウンボタンを押して、シャッター速度を低速側に変更します。
2. ISO ボタンを押しながらアップボタンを押して、ISO (感度) を上げます。
3. 光源の光量調整が可能であれば、光量を多くして再測定します。



5-5-2 測定範囲を超えたとき

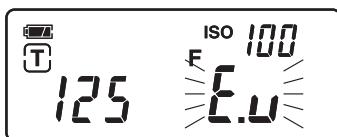
1) 「E.o」 が点滅した場合

本機の測定範囲を超える明るさのときは、「E.o」が点滅し、測定ができません。
この場合は、光源の光量調整が可能であれば、光量を少なくするか、光源から離れて再測定してください。



2) 「E.u」 が点滅した場合

本機の測定範囲に届かない暗さのときは、「E.u」が点滅し、測定ができません。
この場合は、光源の光量を調整が可能であれば、光量を多くするか、光源に近づいて再測定してください。



6. 機能

6-1 カスタム設定機能

ご使用にあわせて、以下のカスタム設定が可能です。

カスタム設定番号	設定内容	カスタム設定項目		
CS1	表示モードの切換	フォトモード PHOTO ※1	HD シネカメラモード HD_L	シネカメラモード CINE
CS2	絞り値とシャッター速度のステップ設定	1ステップ 10 ※1	1/2ステップ 0.5	1/3ステップ 0.3
CS3	簡易照度表示設定 (※2)	ルクス L ^{lx} ※1	非表示 NONE	

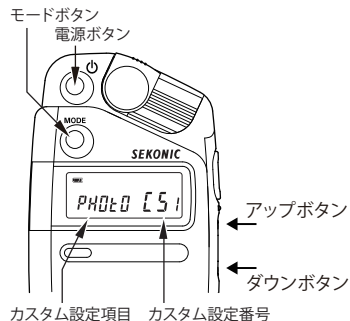
※1 初期設定。

※2 簡易照度はフォトモードでは表示されません。

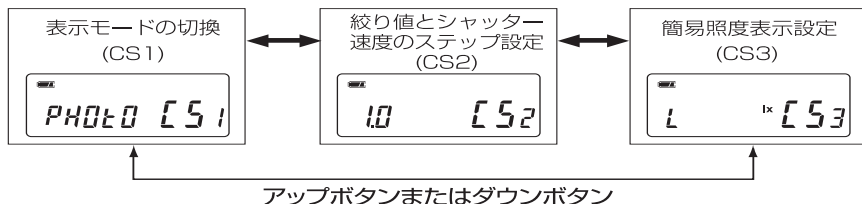
操作

1. カスタム設定モードにするには、電源がOFFの状態では、モードボタンを押しながら、電源ボタンをONにしてください。

カスタム設定モードになると、液晶表示の右側にカスタム設定を示す「CS」と設定番号「1～3」が表示されます。また、液晶表示の左側には現在の設定項目が表示されます。

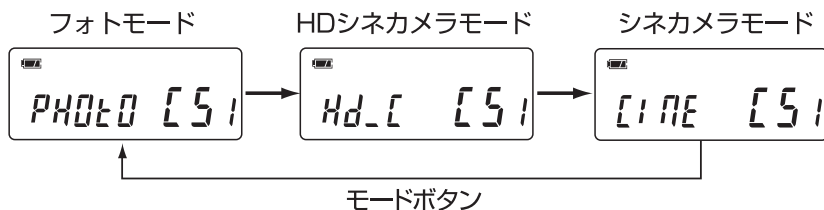


2. アップボタン、またはダウンボタンを押して、変更するカスタム設定番号を選択します。

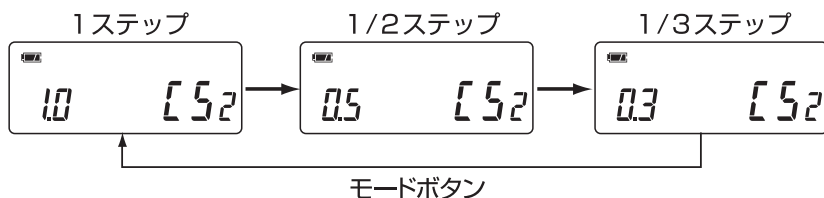


3. モードボタンを押すごとに、カスタム設定項目が変更します。

<表示モードの切換え>



<絞り値とシャッター速度のステップ設定>



! ご注意

- 1/2ステップまたは1/3ステップ設定時には、1ステップ設定時に表示される1/10の測定値は表示されません。
- フォトモードでEVモードをご使用のときは、どのステップに設定されていても、1/10の測定値が表示されます。

<簡易照度表示設定>



! ご注意

- 簡易照度は、HDシネカメラモード、シネカメラモードのみにて表示されます。(フォトモードでは表示されません。)

4. 電源ボタンを押すと、設定内容を保存して電源をOFFします。

6-2 指示値補正機能

本機は当社の基準により標準的な校正がされていますが、特に必要な場合（デジタルカメラの露出に合わせる、別の露出計の測定値に合わせる、など）、 $\pm 1 \text{EV}$ の範囲を0.1ステップ単位で補正できます。

操作

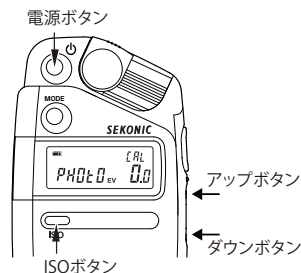
1. 指示値補正を行いたい表示モード（フォトモード、HD シネカメラ、シネカメラ）をあらかじめ設定します。

ご参考

- 指示値補正は、表示モード毎に独立して設定できます。設定したい表示モードをあらかじめカスタム設定にて選択します。（➡ P31）

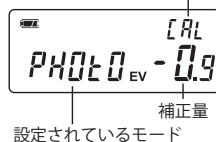
2. 電源が OFF の状態で、ISO ボタンを押しながら、電源ボタンを押して ON にしてください。

指示補正機能になると液晶右上に指示値補正を示す「CAL」、左下に設定されている表示モードが表示されます。また、右下に現在設定されている補正量が表示されます。（初期設定は「0.0」）



3. アップボタン、またはダウンボタンを押して、補正量を選択します。

指示値補正（キャリブレーション）



ご注意

- プラス補正は露出オーバー（画像が明るくなる）、マイナス補正は露出アンダー（画像が暗くなる）となります。
- 補正する時は、十分なテスト撮影の結果を元にご自分の好みに合わせて補正してください。

4. 電源ボタンを押すと、設定内容を保存して電源を OFF します。

7. 各種設定値

7-1 ISO 感度

基本的には 1/3 ステップの設定値ですが、シネカメラに使われる ISO850 が ISO800 と ISO1000 の間に表示されます。

3、4、5、6、8、10、12、16、20、25、32、40、50、64、80、100、125、160、200、250、320、400、500、640、800、850、1,000、1,250、1,600、2,000、2,500、3,200、4,000、5,000、6,400、8,000

7-2 シャッター速度

「m」は「分」、「s」は「秒」、単位のついていないものは「秒」です。カメラの設定に合わせてカスタム設定で選択可能です。シャッター速度の上限は定常光は 1/8,000 秒まで、フラッシュ光は 1/500 です。表の 1/8,000 以降の遅い速度は、旧シャッター速度です。定常光とフラッシュ光では追加で表示する旧シャッター速度の内容が変わります。

1 ステップ (初期値)	60s、30s、15s、8s、4s、2s、1s、1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/125、1/250、1/500、1/1,000、1/2,000、1/4,000、1/8,000、1/75、1/80、1/90、1/100
1/2 ステップ	60s、45s、30s、20s、15s、10s、8s、6s、4s、3s、2s、1.5s、1s、0.7s、1/2、1/3、1/4、1/6、1/8、1/10、1/15、1/20、1/30、1/45、1/60、1/90、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/750、1/1,000、1/1,500、1/2,000、1/3,000、1/4,000、1/6,000、1/8,000、1/75、1/80、1/90、1/100
1/3 ステップ	60s、50s、40s、30s、25s、20s、15s、13s、10s、8s、6s、5s、4s、3.2s、2.5s、2s、1.6s、1.3s、1s、0.8s、0.6s、0.5s、0.4s、0.3s、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1,000、1/1,250、1/1,600、1/2,000、1/2,500、1/3,200、1/4,000、1/5,000、1/6,400、1/8,000、1/75、1/80、1/90、1/100
HD シネカメラ モード専用	1/8 ~ 1/8,000 の各ステップのシャッター速度に追加されます。 1/24、1/25、1/30、1/48、1/50、1/60、1/64、1/96、1/100、1/120

7-3 絞り値

カメラの設定に合わせてカスタム設定で選択可能です。

1ステップ (初期値)	0.5、0.7、1.0、1.4、2.0、2.8、4.0、5.6、8.0、11、16、22、32、45、64、90
1/2ステップ	0.5、0.6、0.7、0.8、1.0、1.2、1.4、1.7、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0、9.5、11、13、16、19、22、27、32、38、45、54、64、76、90
1/3ステップ	0.5、0.56、0.63、0.7、0.8、0.9、1.0、1.1、1.3、1.4、1.6、1.8、2.0、2.2、2.5、2.8、3.2、3.6、4.0、4.5、5.0、5.6、6.3、7.0、8.0、9.0、10、11、12.7、14、16、18、20、22、25、28、32、35、40、45、51、57、64、72、81、90

7-4 フレームレート

選択可能なフレームレート (f/s) は下記のとおりです。

8、12、16、18、24、25、30、32、48、50、60、64、96、100、120、128

7-5 シャッター開角度

選択可能なシャッター開角度は下記のとおりです。

45°、90°、180°、270°、360°

8. 別売アクセサリ

■ シンクロコード

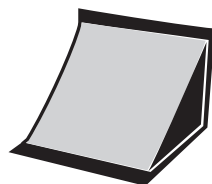
長さ5mのコードは3つのプラグを持ち、露出計、フラッシュとカメラを接続同調させることができますので、撮影する時にもコードを差し換える必要がなく便利です。また、シンクロコードの露出計側の接続端子（オス）は、抜け防止用にロック機構がついています。

（露出計側オス端子1個－オス端子1個・メス端子1個）



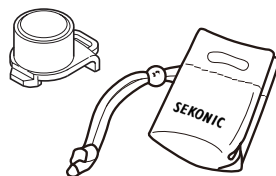
■ 18% グレーカード

18%の反射率を持つグレーカードです。予めこの標準反射板を露出計の反射光式で測定すると、標準的な露出値を得ることができます。



■ 白色平板（ソフトケース付き）

原稿、書籍、絵画などの平面的な被写体を測定するとき、または照明比の測定、簡易的に照度を測定するときに使います。



9. 仕様

形式

- フラッシュ光及び定常光用デジタル露出計

受光方式

- 入射光式及び反射光式

受光部

- 入射光式 光球、平板機能 (別売アクセサリ)
- 反射光式 レンズ (受光角 40 度)

受光素子

- シリコンフォトダイオード

測定モード

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> フォトモード | <ul style="list-style-type: none"> 定常光 | シャッター速度優先測定
絞り優先測定
EV 測定 |
| | <ul style="list-style-type: none"> フラッシュ光 | シンクロコード無しで測定 (コードレス)
シンクロコードを用いて測定 (コード接続) |
| <ul style="list-style-type: none"> HD シネカメラモード | <ul style="list-style-type: none"> 定常光 | シャッター速度優先測定
フレームレート設定
簡易照度測定 |
| <ul style="list-style-type: none"> シネカメラモード | <ul style="list-style-type: none"> 定常光 | フレームレート優先測定
シャッター開角度設定
簡易照度測定 |

繰返し精度

- ± 0.1EV 以内

測定範囲 (ISO100)

- | | | |
|---|------|----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 定常光 | 入射光式 | EV 0 ~ EV +19.9 |
| | 反射光式 | EV 0 ~ EV +19.9 |
| <ul style="list-style-type: none"> フラッシュ光 | 入射光式 | F1.0 ~ F90.9 |
| | 反射光式 | F1.0 ~ F90.9 |
| <ul style="list-style-type: none"> 照度 (有効数字 2 桁) | 入射光式 | 2.50 lx ~ 190,000 lx |

校正定数

- | | | |
|--|----------|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> 入射光式 | 光球 C=340 | 平板 C=250 |
| <ul style="list-style-type: none"> 反射光式 | K=12.5 | |

表示範囲

● ISO 感度	ISO3 ～ ISO8,000 (1/3 ステップ)、ISO850		
● シャッター速度	● フォトモード	定常光	60 秒～1/8,000 秒、 (1、1/2、1/3 ステップ)
		フラッシュ光	1 秒～1/500 秒、(1、1/2、1/3 ステップ) 他 1/75、1/80、1/90、1/100 秒
	● HD シネカメラ モード	定常光	1/8 秒～1/8,000 秒、 (1、1/2、1/3 ステップ)
● フレームレート (f/s)	8、12、16、18、24、25、30、32、48、50、60、64、 96、100、120、128 f/s		
● 絞り値	F0.5 ～ F90.9 (1、1/2、1/3 ステップ)		
● シャッター開角度	45°、90°、180°、270°、360°		
● EV 値	入射光式	EV -6.0 ～ EV +27.2 (0.1 ステップ)	
	反射光式	EV -6.0 ～ EV +27.2 (0.1 ステップ)	

その他の機能

● 測定範囲外および表示範囲外	E.u (アンダー)、E.o (オーバー) 警告表示		
● 電池容量表示機能	3 段階表示		
● 自動電源 OFF 機能	最終操作後約4分		
● 液晶バックライト (EL)	自動点灯 (EV5 以下)		
● カスタム設定機能	3 項目設定可能		
● 指示値補正機能	-1.0 ～ 1.0EV (0.1 ステップ)		

使用電池

- 単3形乾電池1本(アルカリ、マンガンのいずれか)

使用温度・湿度範囲

- 0℃～40℃ ・相対湿度：85%RH (35℃のとき) /但し、結露しないこと

保存温度・湿度範囲

- -20℃～60℃ ・相対湿度：85%RH (35℃のとき) /但し、結露しないこと

寸法

- 約63(幅)×110(高さ)×22(厚さ)mm

質量

- 約80g(電池含まず)



標準付属品

- ソフトケース、ストラップ、シンクロターミナルキャップ、スタートアップガイド保証書付き、安全上のご注意

この使用説明書に記載の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

10. 法的要求事項

本製品は下記の法的順守事項に準拠しています。

仕向け地	規格		詳細		
欧州	CE 	SAFETY	低電圧指令 (LVD)	Directive 2014/35/EU	
		EMC	EMC	Directive 2014/30/EU	
		環境関連	WEEE		
			RoHS	Directive	2011/65/EU
			REACH		
北米	FCC (US)	EMC	FCC Par:15 SubpartB ClassB		
					
	IC (Canada)	EMC	ICES-003		
日本	環境関連		容器包装リサイクル法		

11. トラブルシューティング

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理をご依頼される前にもう一度ご確認ください。下記の点検をしても正常に動作しない場合は、本機の故障の可能性があります。電池をはずして購入先または弊社まで修理をご依頼ください。

状態	点検項目	対処方法
パワーオンしない (表示しない)	電源ボタンを短く押ししていませんか？	電源ボタンを1秒以上長押ししてください。
	電池は⊕⊖が正しく入っていますか？	⊕⊖表示を確認してください。 (⇒ P5)
	電池の容量はありますか？	電池を交換してください。 (⇒ P7)
	電池の端子が汚れていませんか？	乾いた布で拭いてください。
	電池は指定の製品が入っていますか？	電池を確認してください。 (⇒ P5)
測定値がおかしい	光球が中間位置になっていませんか？（配光特性が変わり適正な測定ができません。）	光球の取付台を確実にスライドさせてください。(⇒ P8)
	測定モードを間違っていないか？（フラッシュ光なのに定常光モードで測定している、など）	正しい測定モードを選択しているかどうか確認してください。
設定範囲内なのにシャッター速度が変更できない	HD シネカメラモードでは、設定したフレームレートよりも遅いシャッター速度の設定ができません。（例：フレームレートを15f/sに設定すると、シャッター速度は1/15sまでしか設定できません。）	HD シネカメラモードでは、設定されているフレームレートの値を変更し、シャッター速度を設定してください。
露出計の設定値・測定値がカメラの設定にならない	カメラのシャッター速度や絞りの設定のステップと露出計のシャッター速度や絞りの設定ステップは合っていますか？	カスタム設定の「表示ステップ」で正しい表示を選択し、露出計のステップをカメラのステップに合わせてください。
EV 値が表示されない	EV 値は下記の測定モードで表示します。 ・定常光フォトモード	EV 値の表示がある測定モードをお使いください。

12. アフターサービスについて

弊社の製品には一定の期間内無償修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。

■ 保証期間などについて

1. 保証期間はご購入日より1年間です。
2. 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 保証期間内でも有償修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃等の諸費用はお客様にご負担願います。

■ 補修用部品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷の著しいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われれますものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

■ 修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご留意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+)(-)極性の間違い、定格違いなどについて、よくお確かめください。

■ お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。



ご注意

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただき、それ以外の責は負いかねます。

株式会社 セコニック

〒 178-8686 東京都練馬区大泉学園町 7-24-14
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144
[http : //www.sekonic.co.jp](http://www.sekonic.co.jp)

JE6097560
December 2017